



中竹っ子

学校だより ～第7号～

豊岡市立中竹野小学校

発行日 R3・10・22

ふるさとに誇りを持ち 夢に向かって たくましく生きる 中竹っ子の育成

山々が色づきはじめ、秋の深まりを感じるころとなりました。今年度も早半年が過ぎました。この半年を振り返ってみますと、やはり新型コロナウイルス感染症対策に追われる日々でした。

そんな中、9月の運動会では人数制限をさせていただいた上での家族のみの参観とさせていただきました。縮小したプログラムや開催時間となりましたが、保護者の皆様の温かい拍手で子ども達を励ましていただきました。また、PTA役員の皆様を中心に多くの保護者の皆様のご協力により、万国旗も設置していただき、中竹野小学校最後の運動会に花を添えていただきました。ありがとうございました。

猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、今は減ってきてはいますが、まだまだ油断できません。これからも新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で、できることをやっいていこうと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きご理解ご協力をよろしくお願ひします。



【シリーズ】 **ありがとう！ 中竹野小学校④**



令和3年度は、中竹野小学校最後の年となります。明治、大正、昭和、平成、令和と5つの時代に亘り、147年の長い歴史を刻んできた中竹野小学校。校長室にある古い資料の中には、時代を感じさせる学校の様子が残されています。第6号では、明治時代の様子をご紹介しました。今回は、大正時代の様子をご紹介します。



【教育方針から】

◎大正13年度

- ・大正7年の大洪水により大きな災害を受け、その年以降村の人たちは財政的にも精神的にも苦しい日が続いたそうです。また、学校教育にも影響し、学習が遅れたり、不安がったり、学校に登校しにくかったりする子どもが多かったそうです。
- ・3間半(約6.4m)に4間(7.3m)の教室が1つあり、特別教室は無く、60人を超える子ども達がそこで勉強していたそうです。 ※ちなみに今の中竹野小学校の6年教室は約6mに約7mの広さがあります。

◎大正14年度

- ・この時の学校施設の様子を顧みて、校舎の増改築、唱歌室(音楽室)、理科室、雨天体操場(体育館)の設置が進められたようです。
- ・農園の拡張、校庭の整備、砂場や運動用具の完成、農具の購入も進められたようです。

◎大正15年度

《学芸会》

この頃、年2回保護者会を兼ねて行われていたようです。隣の学年と談話、朗読、唱歌や遊戯が行われていたと記録されています。

《展覧会》

夏休みの後、裁縫、工作、作文、書写、練習帳(ノート)、農産物等が展示されていたそうです。

《修学旅行》

尋常5年以上の児童には、旅行費を積み立てて、各学年に応じた地方へ修学旅行に出かけていたようです。

自然学校（3, 4, 5日目 2泊3日）～神鍋高原～

10月6日（水）～8日（金）、5年生は自然学校を実施しました。すでに2日間（日帰り）のプログラムは終えており、今回が最後のプログラムになります。

初日は、あいにくの雨模様となりましたが、神鍋山登山とその周辺を散策してたくさんの自然と触れ合いました。次の日は午前中に陶芸教室、午後からは「フォレストアドベンチャー奥神鍋」でフィールドアスレチックを体験しました。夜はみんながお楽しみの「キャンプファイヤー」でした。満天の星空の下、大きく燃え上がる炎を囲んで、楽しい思い出深いひと時を過ごしました。そして最終日。火山である神鍋山の溶岩流探検を行い、すべての日程を終えました。

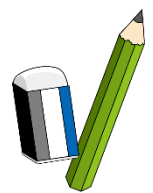
今回2泊3日を含む5日間一緒に活動した子ども達は、来年度統合する新しい竹野小学校の最高学年となります。この自然学校は、16名の5年生が「仲間」としての絆を深め、竹野小学校のリーダーとなる来年に向けた最高の機会になったと思います。

保護者の皆様には、準備等大変お世話になりました。ありがとうございました。



頑張れ中竹っ子 ～全国学力・学習状況調査の結果を受けて～

8月末に「全国学力・学習状況調査」の結果が出ました。学校ではこの結果を分析し、これからの指導に活かしていくことを検討しました。



《改善策》

【国語】

- ・漢字と語彙力に課題が見られました。今後は、タブレットを使って楽しみながら漢字の学習に取り組んだり、幅広い分野の本を読んだりすることを通して、漢字と語彙力の向上に努めます。
- ・一つの文章の中の「主語と述語」や「飾り言葉」の理解の曖昧なところが見られました。授業やその「振り返り」、「ちょっと言わせて」の取組の中で、正しく文章を書いたり、正しく文章を読んだりすることを通して、力を付けていきます。

【算数】

- ・問題文の読み取りが不十分なことが、誤答の原因の一つと考えられます。授業の中で、問題文の中の必要な条件と尋ねられていることに、下線を引いたり書き出したりして確認するよう取り組みます。
- ・記述による回答が苦手な傾向にあります。授業の中で、条件に合った記述の仕方を、簡単な問題からでも始めて、記述の力を育てます。

【児童質問紙】

- ・各家庭にコンピュータやスマートフォンが普及して、ゲームをする児童が増えてきている中、家の人との約束を守っている児童が少ないようです。学校で全児童に渡しているタブレットの使用上の約束も含めて、家庭と連携して、適切に活用していくよう取り組んでいきます。
- ・自己肯定感（自分には良いところがある）は高いです。学習活動や委員会活動、学校行事の中で、友達との関わりを通して、自己有用感（必要とされている、役に立てて良かった等）を持たせることにより、今後も学習意欲を高めていくよう取り組みます。